

発行責任者 理事長 恩田初男  
〒374-0057  
群馬県館林市北成島町1829-5  
TEL. 0276(70)1326  
FAX. 0276(70)1327  
メール npootagaisama@rhythm.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://otagaisamaegao.net>

# お互いさまだより

理念 「人とのつながりを大切にした福祉活動で、誰もが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指します。」

## 26年度取り組みの重点

- ① 小規模多機能事業所・コミュニティーカフェの建築、運営準備
- ② 職務、職責の設定26年10月まで
- ③ 市民後見の講演会開催

# 祝

新規事業 小規模多機能事業所の名称

## 多機能ケアの喜楽 竣工！！

# 募集

### 平成27年6月運営開始・介護職員募集中

平成26年度当法人の目標であった「多機能ケアの喜楽」の建物が、平成27年3月23日に施工会社の河本工業株式会社から引き渡しを受けました。小此木建築士・河本工業の須永氏及び関係者のみなさまには大変感謝しております。また、基本設計でご尽力をいただきました造形家の松原氏は、完成を見ずに他界されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

この「多機能ケアの喜楽」は、通い・泊り・訪問が一体的に提供できる介護サービスです。住み慣れた自宅生活をトータルで支援する機能を備えています。

地域にお住いの方に喜んでいただける支援をするため介護職員を募集しています。研修などを行い6月1日にオープンします。

また、**地域の皆さんへの見学会**を**5月23日・24日**に予定しています。ぜひお越しください。

平成26年度当法人の重点項目の一つである市民後見の講演会は予定通り行われました。講師の品川成年後見センター所長齋藤修一氏によるお話・後半のパネルディスカッションと盛り沢山な内容で、充実した講演会だったと好評でした。参加者は129名。81%は市内の方です。

今後につながるアンケートも多数回収できました。地域社会と連携した市民後見人の必要性が理解できた、今後につながる取り組みに参加したいと38人の方が書いてくださいました。

この建物の手前の基礎のところからこれから**ケアラースカフェ**が建つ予定。

## 知ろう！市民後見人

### 講演会・パネルディスカッション

2月21日（土）開催報告



## デイサービスセンター 喜楽

家族・ケアマネから信頼され、  
選ばれるデイサービスを  
目指しています。

### 【優れた取り組みとして評価されたこと】

平成27年2月6日（金）厚生労働省の調査実施機関の方々が来所されました。目的は認知症の方が安心して自宅での生活を継続していくために、通所型サービスはどのような支援を行っていくべきか、検討を行うための観察聞き取り調査でした。

認知症ケアにおいて優れた取り組みを行っている全国の事業所（約30か所）に当事業所が対象となりました。いつも普通に行っていることが評価されたことを誇りに思います。しかし、これにおごる事なく気を引き締めて日々の認知症ケアに取り組んでいく所存です。

### 【感動したこと】

最近デイサービス喜楽を利用されるようになった方のことです。この方は目をご不自由で、日常生活の介助に必要な女性です。私たちは利用者さんと一緒に昼食の調理を行っていますが、ある日、この方が包丁を使ってジャガイモの皮をむいて下さいました。皮がむかれたそのジャガイモは実にきれいだったのです。“昔取った杵柄”とは言え、何でこんなにきれいに皮がむけるのかと・・・みんなビックリでした。その話をご家族に伝えると、とても喜んでくれました。

### ★ケアプラン介護相談の喜楽★居宅支援事業所から

居宅支援事業所とは、介護保険を利用する必要がある方やご家族の要望を尊重し適切なサービスが利用できるような支援する事業所です。ケアマネージャーは、依頼に応じてご希望や身体の状態にあった介護サービス計画を作成します。ケアプランはもちろん、相談に応じて介護保険の申請など臨機応変に対応しています。  
「ケアプラン介護相談の喜楽」は、介護について、認知症について、なんでも相談していただける場所です。どうぞ、お気軽にご連絡、来所して、心の重荷を軽くしてください。また、ご連絡いただければご自宅にお伺いしてお話をお聞きすることもできます。三人のケアマネージャーがいつでも、笑顔でお待ちしています。

### 訪問介護の喜楽から

## ヘルパーさんの紹介です

・日里 トシヤン



昨年九月二十二日から十二月二日まで初任者研修を受講し、修了証を手に入れました。今年一月七日から訪問介護の喜楽でヘルパーをしております。

当初は、本当に自分にできるのかと不安な気持ちでいっぱいでしたが、先輩方の指導の下、何とか頑張って今日に至っております。今は利用者様のお宅で調理しながらの会話に笑顔を見せていただけるようになりました。今度はいつ来てくれるのかと予定表を見てくださる姿をみて、とてもうれしく思います。今後常に向上心を持ち、小さなことでも自分のできることを探して利用者様に喜んでもらえるよう笑顔で接したいと思っています。

・越澤 恵子さん



お互いさまネットワークの介護職員初任者研修を終えて、一月から訪問ヘルパーとして介護の仕事を始めました。まだまだ緊張もあり、気持ちに余裕がありませんが、訪問先の利用者様との信頼関係を大切にし、在宅でおだやかな生活が続けられますように、笑顔で元気を届けたいと思います。

## 初任者研修

### 新年度第一回準備中！

平成二十七年五月八日から開講予定の介護職員初任者研修は、夜間の講習です。十八時三十分から三時間の講義が八月まで続きます。

（講義・演習三十七日間・実習三日間）  
夜間講習は一回の時間が短いので、何日か日数が多くかかりますが、これまでの受講生の方々は和気あいあい励まし合いながら熱心に受講されておりました。今回も定員は100名で、四月十五日から申込みの受付をいたします。当法人ホームページから申込書を取ることもできますが、お電話下されば書類一式を郵送いたします。



資格取得までサポートします。少人数なので、安心です。

修了式の後に職場ガイダンスを実施し、採用を希望する事業所が説明会に参加します。毎年、これまでに受講修了した方々にフォローアップ研修を行っています。交流しながらキャリアアップを目指します。

# 喜 楽

## グループホーム日々の暮らし

おだやかな日常が、なによりのしあわせ……

平成27年・新しい年を迎えました。寒さにも負けず、毎日をおだやかに過ごされ、冬を乗り越えました。

2月、みんなで“鬼は外、福は内！！”と願い、節分の豆まきをしました。お習字や編み物にもチャレンジして思い思いに過ごされています。

3月から、新しい方が入居されました。猫の大好きな優しい方です。少しずつ慣れていただき、楽しくゆったりと過ごして頂ければと思います。



昔取った  
杵づか！



福はうち  
鬼はそと！



## 喜 楽 II

新しい年を迎えた1月17日に家族会での新年会が行われました。会場はつつじヶ岡パークインです。夜景のステキなところで、美味しい食事を頂きました。

ジャンケン大会 etc.で、楽しいひと時を過ごしてきました。ご家族の皆さまご協力ありがとうございました。2月には、外食で回転ずしに行ってきました。皆さん好きなお寿司を選んで美味しそうに食べていました。今年も元気いっぱい外に出かけて行きます！！



喜楽II家族会  
夜景も美しかったよ



お寿司大好き！！  
久しぶりですねえ



ジャンケン大会景品  
ジャンボ！イカ



# よってこ松沼

おかげさまで  
**3年目がスタート！**



蕎麦打ち道場  
さながら！！



打ちたて蕎麦  
さっそく試食

「よってこ松沼」の平成二十六年年度の目標その一は、利用者の拡大でした。スタッフも数に入れれば一日平均二〇人、おおむね目標達成です。目標その二、季節ごとのイベント充実も、盛況でした。特に冬の蕎麦打ちは、講習ののち腕を上げたスタッフが月に二度、メニューに打ちたて蕎麦を提供。好評です。目標その三、うたごえ喫茶の充実も、金曜日ことリーダーを交代しながら、人気イベントとなりました。喫茶メニューもお好みで選べるようになり、味噌おでん、甘酒、アイスクリームなどが人気でした。

今後、月に一度のスタッフ会議には、利用者さんにもフリーで参加していただき、ご意見を取り入れながらより良い運営をしていきます。

## 支え合い活動

### 支え合いのお仲間になりませんか？

現在、協力会員として登録してくださっている方は男性7名を含む39名です。年齢、資格は問いません“困ったときはお互いさま”のお気持ちのある心身ともにお元気な方、お待ちしております。

### 《主な活動内容》

- ◎車の送り迎え（講習を受けて頂きます）
- ◎家事援助（調理、掃除、買い物、用足しetc...）
- ◎見守り・話し相手
- ◎病院内のつきそい
- ◎入院中の方の買い物、洗濯
- ◎その他の困りごといろいろ

できる時にできる事を ご協力ください。

まずは、お電話でお問い合わせください。

支え合い活動直通電話 0276 (74) 8286

担当コーディネーター 坂田寿子

## 初任者研修を振り返って

~~~~今年度、第三回目の初任者研修受講修了生の感想~~~~

これから何が始まるのか・・・不安と緊張がいっぱいでした。そして、いざ、始まってみると、考えさせられることばかりでした。介護の現場で当たり前にしていた行為も、介護される役になってみればあまり心地よいものではなかったのです。

食事を介助してもらいながら、自分のペースを伝えにくいなあ~~~~あまりおいしくないなあ~~~~と、実感しました。

介護は、その人の世話をするだけではなく、いつでも、その相手を自分だと思ひ、視線をそらしていくことを学びました。これから仕事にかつ頑張りたいと思ひます。

















